

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コベルプラス青物横丁教室				公表日	令和8年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を遵守したスペースとなっており、個別・集団療育どちらも適切な室内の広さで実施しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		法令を遵守した基準配置以上の人数で運営しております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		お子様が安全に過ごせるようベビーゲートやコーナーガードを設置しています。また、お子様がわかりやすい表示物を提示しております。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃、消毒、換気をし感染予防及び心地よい空間を保っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		定期的カンファレンスやミーティングを行い業務改善に努めております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		直ちに実施できる改善すべき点は職員間で話し合い改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		定期的カンファレンスを実施し、職員同士で意見交換することで業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現状では第三者評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的本部が行う研修や行政主催の研修に参加しております。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者との面談や職員との支援会議にて個人の分析をして支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		お子様の様子についてカンファレンスを行い一人一人についてよりよい支援を検討しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画作成後には職員間で内容を共有し、共通認識の下、支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		会社で定められたアセスメントツールの使用に加え、レッスン時の行動を観察することで把握しております。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿い、お子様の発達状態や保護者様のご要望も伺いながら設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		コベルプラス独自のプログラムをそれぞれのお子様に合わせて提供できるように職員間で話し合いをしています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日々の教材以外の個別支援教材を取り入れ、レッスンで行った内容を把握し色々な教材に触れることが出来るよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子様に合わせた計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		特に集団レッスンの前は指導員で集まり必ず打ち合わせの場を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日の支援終了後ではないが、時間を設け支援内容の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		システムで療育ごとの記録をとっております。また、使用した教材などの引継ぎ事項も記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		計画更新の際に必ずモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者が主に参加していますが、必要に応じて指導員も参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関と協定を結んでおります。また、保護者様には通所先との連携を取れることもお伝えしております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保護者様や幼稚園・保育園からの要望に応じ見学や情報共有の機会を設けています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	就学支援シートなど情報共有が必要であれば協力をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		定期的に事業所連絡会に参加し、児童発達支援センターの方との情報共有を行っております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		当事業所の療育内容として実施が難しく機会を設けておりませんが、保護者様からのご要望があった際には検討してまいりたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		フィードバックの時間や面談等で保護者との話し合いを設け、お子様の情報を共有させていただいております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		現時点ではペアレントトレーニングを実施しておりませんが今後検討いたします。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時にご説明させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		ご家族の意向やお子様の現在の発達段階などアセスメントの機会を設けお話をしています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		計画作成後には保護者様へ説明を行い、同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様より相談を受けた際は適宜面談の場を設けるようにし、職員間でも共有して対応できるようにしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		保護者会等の開催実績はございませんが、ニーズがあれば今後検討いたします。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		職員間で早急に対応を検討する話し合いを実施し対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ブログやインスタグラム、掲示板を使用し発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫やパソコンデータはパスワードを設定して管理しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		必要に応じて絵カードで対応しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在実施が難しい為行っておりませんが、無料体験レッスンは行っております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		全てのマニュアルを策定し定期的に訓練をしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、非常災害時に備え備品の管理やお子様を含めた避難訓練を年2回以上実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時やフェイスシートで確認し職員間で共有しております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食べ物の提供はありませんが、アレルギーの確認はしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を策定し研修・訓練をしています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		教室内に避難経路など提示しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットにあたる事案が発生した場合は報告書を作成した上で全職員で話し合い再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年2回以上、研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時に必ず説明を行い、同意を得ております。		